

YAMANASHI

県民一人ひとりが 豊かさを実感できるやまなしへ

～ 県の取り組みを、わかりやすく ～

山梨県

困っていること・課題

県の考え

具体的な取り組み

★…関連する詳しい資料があります

施策体系 ① 県民生活の強靱化 ～誰もが安心して暮らせる山梨へ



いま、困っていること

県の考え

だから、こうします

物価高で生活が苦しい
給料が上がっても暮らしが楽にならない

働いた分、
ちゃんと報われる
山梨に

★ 賃金水準の
持続的な引き上げ

家族の介護・看病を
一人で抱え、孤立しがち

介護があっても、
仕事を辞めずに
続けられるように

★ 介護する人を支える
(ケアラー支援)

人口減少・高齢化で
地域の支え手が足りない

国籍を問わず、
多様な人材が
ともに地域を支える

★ 外国人も日本人も、
ともに暮らせる地域づくり
(共生社会の推進)

★ 県有資産の高度活用・・・県が持つ土地などを活かして自主財源を確保し、県民へ還元

いま、産業が抱える課題

県の考え

だから、こうします

機械電子産業

景気の波に左右されやすく、
仕事や収入が不安定

景気に左右されず、
安定して成長できる
産業に

成長分野への参入を後押し

★水素・医療機器・航空宇宙防衛

農業

市場の縮小・産地間競争・
担い手（後継者）の減少

農家の手取り
（所得）を増やす

輸出を拡大

やまなしブランドを高める
担い手（後継者）を育てる

観光業

一人あたりの消費額小さく、
人手も不足

“稼げる観光”へ
価値を高める

自然・美食など観光資源を磨く
DXで観光地経営を高度化
経営人材を育成、従業員を確保

★やまなしブランドの価値向上

★各地域の高付加価値化

いま、抱える課題

災害が大型化し、頻発
南海トラフ地震や
富士山噴火のリスク

県の考え

災害に強い
県土をつくり、
被害を防ぐ・減らす

だから、こうします

自然災害に強い国・県道の整備
道路・橋の長寿命化、耐震化
流域治水（川の氾濫対策）の推進
地域防災力の強化
富士山火山防災対策

バス・電車などの
維持が難しい
(利用者減・人手不足・赤字)
移動に困る高齢者
などが増加

地域交通の高度化
移動を便利にして、
観光や地域経済も元気に

(リニア開業を契機に)
★ 富士トラムを核に二次交通を高度化

道路ネットワークの整備
・中部横断自動車道
・新山梨環状道路
・新たな御坂トンネル

施策体系 ④ 地域を担う人財づくり ～成長段階に応じた施策展開



- ✓ 少子化で若い世代が減少
- ✓ 家庭の経済状況による教育格差
- ✓ ヤングケアラー、不登校などの深刻化
- ✓ 若者の県外流出で担い手不足

- ✓ 希望出生率の実現
- ✓ 家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもや若者が将来に希望を持てる環境づくり
- ✓ 地域社会を支える人材を確保



プレコンセプションケア

保育人材確保
待機児童ゼロ

少人数教育

中学校の少人数
教育の検討

高校改革

奨学金
返還支援

不妊治療
支援

国際保育

技術系専門人材の育成

★ 国際交流の取り組み

★ 自然首都圏の推進

DX人材育成エコシステム

生活困窮世帯への支援（学習・生活支援）

ヤングケアラー支援（理解促進・支援体制の構築）

施策体系 ④ 地域を担う人財づくり

～子どもたちの希望を叶える教育環境



目的

家庭環境によらず、全ての子ども
の可能性を最大限引き出す



個別最適な学びの充実

一人ひとりの状況や特性に
合わせた学びの環境を提供

小学校

- ・25人学級編制
- ・山間部・小規模校での
特色ある取り組み支援

中学校

- ・少人数教育の検討

高校

- ・県立高校教育の抜本的
改革

多様な学びの機会

- ・夜間中学・学びの多様
化学校
- ・全国初の7年一貫教育

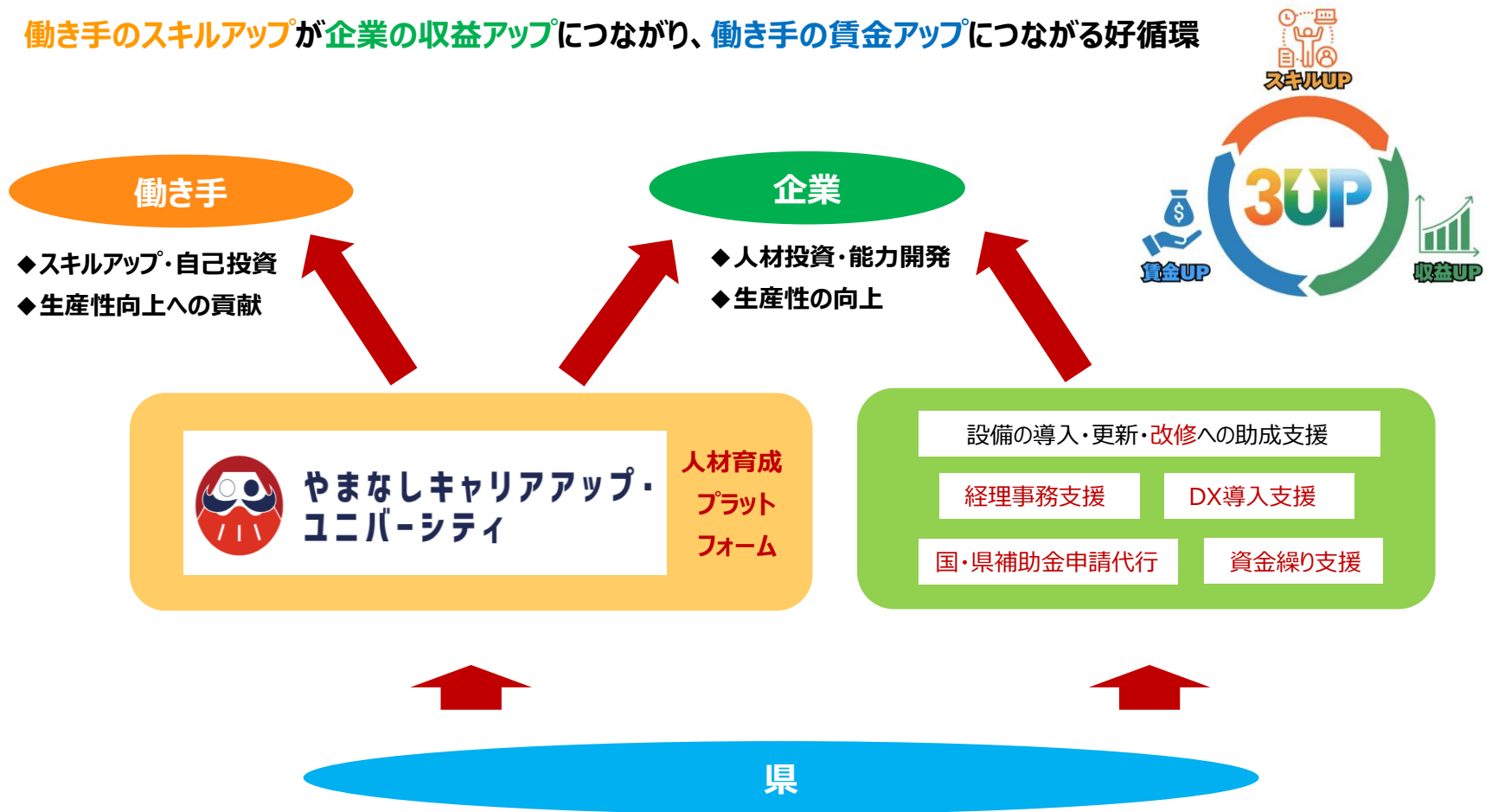
- ・国際交流
- ・PBL(DXによる地域課題解決)
- ・甲斐人の一撃 etc.

賃金水準の持続的な引き上げ



豊かさ共創スリーアップ

働き手のスキルアップが企業の収益アップにつながり、働き手の賃金アップにつながる好循環



ケアラー支援の充実・強化

現状・課題

◆ ケアラーの約1割が、離職・失業の危機に直面

- ・ 本県の調査では回答者の **4人に1人** がケアラーに該当
- ・ **若年労働力人口の減少と高齢化が全国より早いペースで進行** ⇒ 代替可能な労働力が限定的
- ・ 介護離職による働き手の喪失は、地域経済の停滞を招くだけでなく、**貧困への転落**をもたらす

気づく

ケアの問題を家族で抱え、周囲から孤立



社会全体への啓発活動

“プレーヤー” から
“マネージャー” (プロに任せる)
への意識転換

- ・ 県民への啓発
支援推進員による普及・啓発
- ・ 企業・経営者への啓発
ワークサポートケアマネジャーの
養成・活用

つなぐ

必要な支援との未接続



公的サービスへの接続強化

- ・ ポッドキャスト番組の配信
- ・ 相談体制の充実
 - ✓ 生成AIを活用した相談受付
 - ✓ 専門職による電話相談
- ・ S S W の増員

支える

負担増による心身の不調



公的サービスの更なる充実

- ・ ワークサポートケアマネ
ジャーによる伴走支援体制
- ・ 市町村職員、支援機関職員
のスキルアップと連携強化
- ・ 家族の療養環境の向上に
よる負担軽減

目指す姿

信頼が育む「包摂」社会

外国人の方々が
地域の一員として
貢献



住民の信頼



日本への
帰属意識

外国人向け

- ・ 国際保育
- ・ 適正な労働環境の整備
- ・ 家族向け医療傷害保険制度
- ・ 日本語教育の推進
- ・ 外国人の子どもの教育支援
- ・ 相談体制の強化

日本人向け

- ・ 国際保育
- ・ 双方に実益をもたらす実質的な
国際交流
 - ✓ 青少年国際交流
(インド、ベトナム、韓国など)
 - ✓ 八ヶ岳少年自然の家でのCISV
 - ✓ 学生アート交流(カリフォルニア州)
- ・ 地域行事における外国人住民との交流促進 (甲府えびす講祭り)
- ・ 外国人に対する誤解や偏見の解消に向けたワークショップの開催

ビジョン

県内企業が外国人労働者に「選ばれる県」となる

労働者の思い

母国在住の御家族がケガや病気をした場合、とても心配
→ 普段から安心して仕事に取り組みたい

目標

母国在住の御家族が現地で充実した医療サービスを受けられ、
外国人労働者が、山梨で安心して働き暮らすことができる

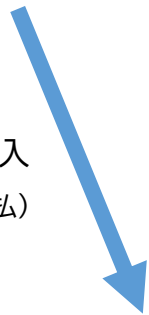
保険のしくみ

山梨県在住



外国人従業員

保険に加入
(保険料支払)



現地保険会社

<ベトナムに加え、R8からインドを追加>

母国在住家族



入院



通院



保険金
請求

保険金
支払

この保険を
利用すれば
医療費は
実質1割負担

県補助制度

要件

- 保険料の1/2を従業員に助成
- やまなし外国人労働環境適正化推進ネットワークに参加する企業



保険に加入した
外国人従業員



県内企業

人材確保に向け適正な環境で外国人労働者の受け入れに取り組む県内企業を支援

補助額
企業が従業員の保険加入の助成に要した経費の1/2
(上限額13,000円/人)



山梨県

県内企業の外国人材獲得に向けた取組を支援(=インセンティブ)

県有資産の高度活用

目的

県有資産の積極的な活用により、**自主財源**を確保し、**教育・介護などの県民サービスへ還元**

県有地

- ・山中湖畔県有地
- ・富士河口湖町船津地内(剣丸尾)
- ・清里エリア etc.

企業局

- ・水力発電事業
- ・水素事業(YHC)

富士トラム

- ・事業収入を還元

水素は、いよいよ実用段階に

研究 *Research & Development*

世界最高水準の研究開発拠点が本県に集積

山梨大学
水素・燃料電池ナノ材料研究センター



実証 *Demonstration*

米倉山を中心にグリーン水素のサプライチェーンを構築
…製造→貯蔵→輸送→利用
一貫した社会実証を実施

電力貯蔵技術研究サイト
(P2Gシステムの実証拠点)



グリーン水素パーク -白州-
(国内最大のグリーン水素製造能力・サントリー工場で活用)

実用 *Practical use*

P2Gシステムによる
地域水素の利活用モデル
が拡大中



「地域水素の利活用モデル」を全国に展開

国内最大の大容量モデル



- ◆ **我が国最大！16MW P2Gシステムが稼働！**
- ◆ **サントリー白州工場を中心に大規模利用**

東京都に設置するコンパクトモデル

R7年10月23日稼働



- ◆ **狭小地の多い地域特性に適したコンパクトモデルで利用の拡大**
- ◆ **製造した水素は、FCモビリティ、グリーンメタンのトライアル製造などに活用**

“実用”での利活用



ゴムの先へ。はずむ未来へ。



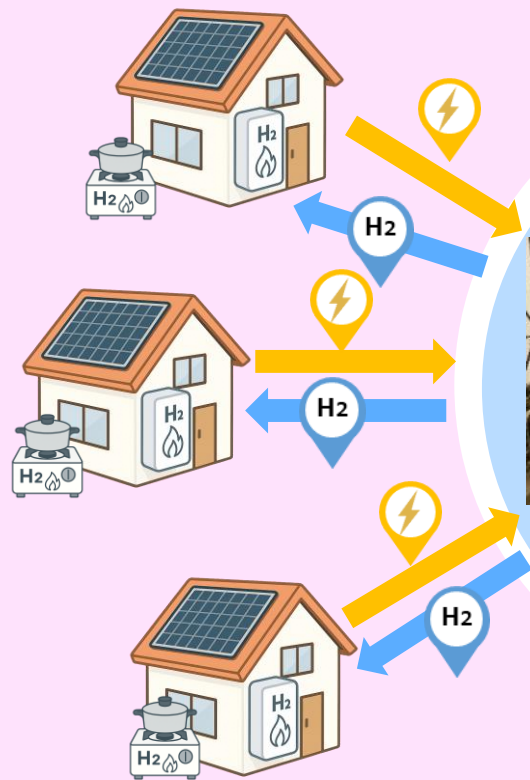
地図に残る仕事。®

山梨県が創る水素社会



特長：**メンテナンスが容易**、**小型**でシステム構成が**シンプル** → **オンサイト導入が可能**

エネルギーの地産地消



産業

水素の地場産業化



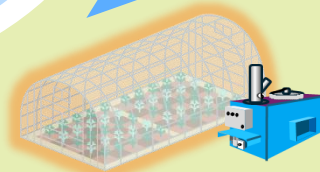
P2Gシステム



H2

農業

やまなしカーボンフリー 農業モデル



水素の地場産業化

【カナデビア（株）の県内立地】

P 2 Gの中核「水電解スタック」量産工場

工場イメージ図



Kanadevia
technology for people and planet

- 建設地：都留市厚原地内
- 完成予定：2028年度末
- 従業員数：約100人
(操業開始時)
- 投資額：約80億円

海外市場
(インドetc)

国内市場



県内企業による

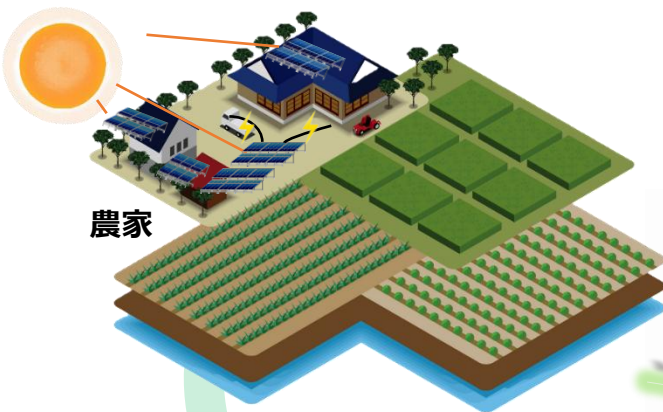
- ✓部材・機器の供給
- ✓周辺機器の組み立て
- ✓保守・メンテナンス



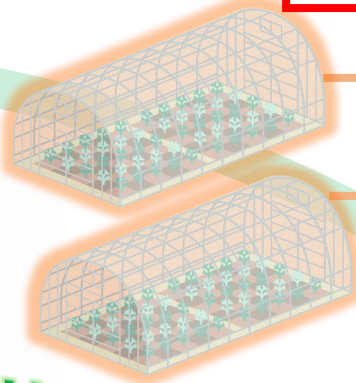
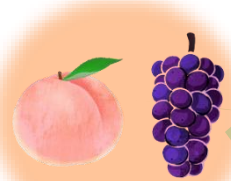
への参画

カーボンフリー農業の実現

将来イメージ

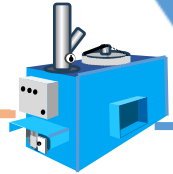


持続可能な農業経営の実現



国内初
R8.2稼働開始

水素暖房機



やまなしカーボンフリー農業モデル

農家へ水素カードルを配送



YHC
Yamanashi Hydrogen Company, Inc.

やまなし水素株式会社

水素社会実現へ世界をリード



インド



ベトナム



ブラジル



オーストリア

国際水素サミット



韓国



アメリカ



フィンランド



カナダ

国際的な連携と議論を創出する『場』を常設化

2026.10 第1回開催！

参加見込：15ヶ国以上

人材育成

水素の実用化を各国で強力に
主導できる**人材を育成**



実用ルールづくり

実用化に向けた課題を収集し、
解決策を検討



水素コンソーシアム



知見を世界に展開する「山梨モデル」

国際水素サミット@山梨



イメージ:ダボス会議

水素コンソーシアム



米倉山での実践演習

山梨モデル @インド

水素実装を世界に展開



P2G
システム
輸出

実装
ノウハウ



山梨での人材育成

知見の蓄積

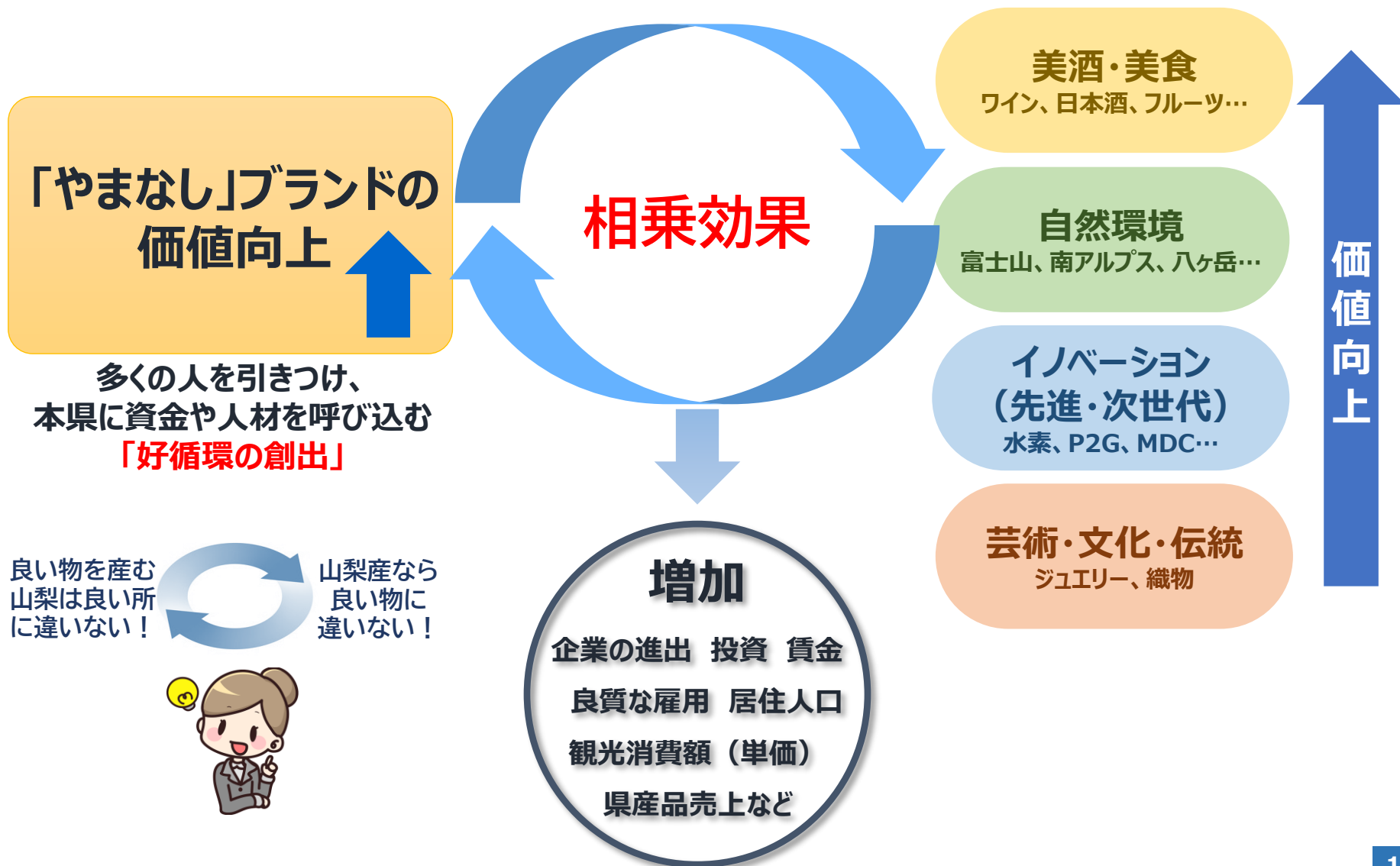


水素に関する
「**知の拠点**」化

大学と連携した講義



「やまなし」ブランドの価値向上



人口減少・少子高齢化

→地域の需要・労働力が縮小

観光や農産物などの地域間競争の激化

→差別化された商品、コンテンツによる量から質への転換が必要



各地域が持つ独自の歴史や文化、風景などを最大限活用

県内全域に魅力あふれる「上質な空間」を拡げていく

(小淵沢の振興)

峡北エリア

「馬」のまちをコンセプトとしたまちづくり



(引用) 北杜市HP

(引用) FOLKWOOD VILLAGE HP

峡東エリア

「ワイン県やまなし」の発展
桃ソムリエの認定・活用

甲府エリア

武田の杜の価値向上



森林散策

夜景

東部エリア

(丹波・小菅)

住民主体で「地域の魅力」「大切にしたい価値」「ありたい姿」を検討。

道の駅つるを核とした、東部エリアの魅力や価値の発信



南アルプスエリア

山岳環境そのものの磨き上げ

南山梨エリア

道の駅富士川を核とした、「南山梨」(峡南5町+南アルプス市)の魅力や価値の発信

富士北麓エリア

★自然首都圏の推進



Hello, Morning!

山梨の「南」らへんは、「朝」がこんなに面白い。



富士五湖自然首都圏の推進



世界への窓口

人材交流

2025.10富士・カリフォルニア
リーダーズサミット



2025.11学生アート交流カリ
フォルニア州派遣事業



2026.2 日印友好交流促進
知事ネットワーク オープニングセッション



2026.4 ラグナビーチ姉妹都市
協会訪問団来県



技術交流

・水素コンソーシアム



・富士トラムの研究

⇒人材・知識・ビジネスの知の拠点

富士トラムを核とした二次交通高度化

リニア駅と
富士山が直結



利用者数の増加



停車本数の増加



利便性の向上



リニアが
普段使いできる乗り物へ
【開業効果の最大化】

富士トラムを核とした
二次交通の新たな基幹路線の推進



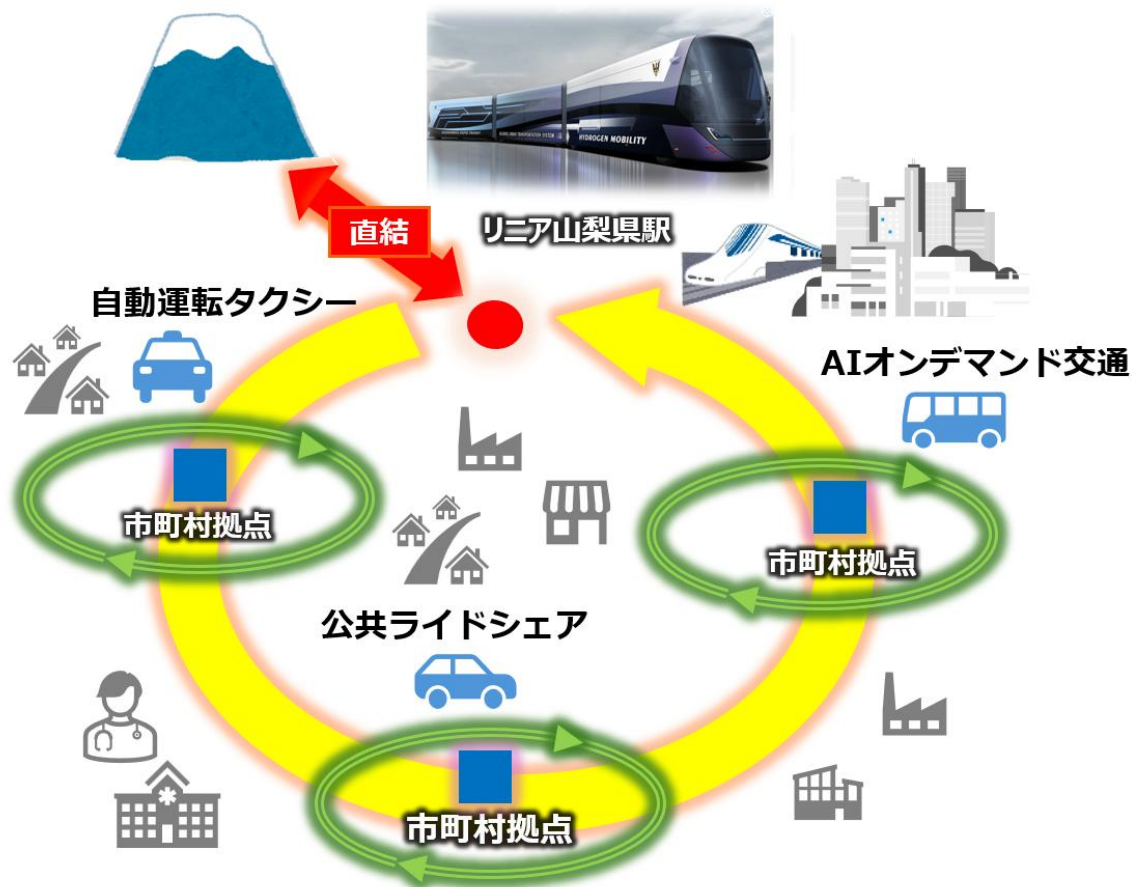
交通拠点から先の
ラストワンマイル需要への対応

地域特性に応じた多様な移動手段の
最適な組み合わせ

- ・自動運転タクシー
- ・AIオンデマンド交通
- ・公共ライドシェア 等



交通弱者などの県民の利便性確保
観光、地域経済の活性化



⑤開の国づくり ～国際交流の取り組み

目的

国内外との交流を通じ、技術や観光・文化、人材といった様々な分野における
県民の選択肢を広げ、地域課題の解決と「豊かさの実感」の創出を図る。

青少年交流を通じた子供たちの成長と、共生社会の土壌づくり

成長を続ける海外巨大マーケットへの進出

県内で不足しているIT人材や介護人材を確保

2025.10 富士・カリフォルニアリーダーズサミット



2025.11 学生アート交流カリフォルニア州派遣



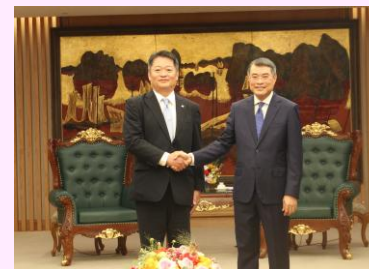
2026.2 日印友好交流促進知事ネットワーク



2026.4 ラグナビーチ姉妹都市協会訪問団来県



2026.5 ベトナム政府を公式訪問





ゲートウェイ構想



(イメージ図)

各県が友好都市との
ゲートウェイとなり経済交流を実現

自治体連携を強力に推進
面的交流が加速

